

東京都立世田谷泉 高等学校 令和5年度 教科： 保健体育 科目： スポーツ科学

教科： 保健体育 科目： スポーツ科学 単位数： 2 単位

対象年次・講座： 2~4 年次 ① ② ③ ④

教科担当者： ① ② ③ ④

使用教科書： (なし)

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 スポーツ科学 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、各種の運動特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題や運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間と考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、共生などを理解し意欲的に取り組むとともに運動に親しみ健康の保持増進と体力の向上目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	A 単元 【知識及び技能】 運動・スポーツにおける技能と体力の関係、練習とトレーニングの基本原則、練習とトレーニング効果をあげるための5原則について、基礎的な事項を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 体力トレーニングを支える基礎理論、体力トレーニングの進め方、目的におうじさまざまなトレーニングの方法について、学習したことを分類したり、分析したりするなどしている。また、筋道を立ててそれらを説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に取り組むとともに、ルールやマナーを守ることができる。	・トレーニングの5原則 ・筋線維からみた特徴 ・ライフスタイルからみたスポーツとの関わり ・体力トレーニングを支える基礎理論 ・超回復について ・トレーニング	【知識・技能】 運動やスポーツを行う際、個人の体力に不適切な負荷や一定部位への長期的な偏重は、けがや疾病の原因となる可能性があること、また、これらを予防することでスポーツが永く継続できることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、習得した知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えること。また、豊かなスポーツライフが広がる未来社会について、これまで学習したことを基に、将来の自己のスポーツ設計や未来の社会についての自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとしている。また、豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	B 単元 【知識及び技能】 スポーツにおける技能の上達過程とそれらを支えた効果的な練習法について、基礎的な事項を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツ競技における戦術的判断について知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に取り組むとともに、ルールやマナーを守ることができる。	・技術と技能 ・技術の型 ・戦術、作戦、戦略 ・運動技能の上達 ・練習曲線 ・トレーニング	【知識・技能】 個々の運動やスポーツを特徴付けている技術は、練習を通して身に付けられた合理的な動き方としての技能という状態で発揮されること、技能には、クローズドスキル型とオープンスキル型の技能があること、オープンスキル型の技能は、対人的な競技などで絶えず変化する状況の下で多く発揮されること、クローズドスキル型の技能は、個人的な競技などで状況の変化が少ないところで多く発揮されること、その型の違いによって学習の仕方が異なることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、習得した知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	C 単元 【知識及び技能】 運動やスポーツによるけがの実態や気象条件・自然環境の変化にもともなう危険性を理解し、障害防止の観点から運動やスポーツをおこなう際の注意事項について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツによるけがの実態、気象条件・自然環境の変化にもともなう危険性、障害防止について、資料等で調べたことをもとに、課題を見つけたら、整理したりするなどして、それらを説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に取り組むとともに、ルールやマナーを守ることができる。	・運動によるケガ、病気の実態 ・運動を行う時に注意すること ・運動やスポーツでの安全の確保 ・トレーニング	【知識・技能】 運動やスポーツを行う際は、気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められること及び、気象条件や自然環境の変化など様々な危険を予見し回避するためには、けがや事故の防止のための対策、発生時の処置、回復期の対処などの各場面での適切な対応方法を想定しておくこと、けがや事故にふりかかりそうな体験から行動や活動環境の修正を図ることが有効であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、習得した知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	D 単元 【知識及び技能】 体の構造を理解した上で、怪我の予防・防止に努めながら、自己の課題や目標に応じたトレーニングを行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題や目標に応じて、計画的にトレーニングを行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に取り組むとともに、ルールやマナーを守ることができる。	・課題や目的の設定について ・課題に合わせたトレーニングの実践(実技：各自がトレーニングプログラムを作成し、自己課題の達成を目指して取り組む)	【知識・技能】 運動やスポーツの技能を発揮するには、個々の技能に関連した体力を高めることが必要になることや、期待される成果に応じた技能や体力の高め方があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、習得した知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	18

後期	<p>D 単元</p> <p>【知識及び技能】 体の構造を理解した上で、怪我の予防・防止に努めながら、自己の課題や目標に応じたトレーニングを行うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題や目標に応じて、計画的にトレーニングを行うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 積極的に取り組むとともに、ルールやマナーを守ることができる。</p>	<p>・課題や目的の設定について</p> <p>・課題に合わせたトレーニングの実践 (実技：各自がトレーニングプログラムを作成し、自己課題の達成を目指して取り組む)</p>	<p>【知識・技能】 運動やスポーツの技能を発揮する際には、個々の技能に関連した体力を高めることが必要になることや、期待される成果に応じた技能や体力の高め方があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、習得した知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えること。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	18
	<p>D 単元</p> <p>【知識及び技能】 体の構造を理解した上で、怪我の予防・防止に努めながら、自己の課題や目標に応じたトレーニングを行うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題や目標に応じて、計画的にトレーニングを行うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 積極的に取り組むとともに、ルールやマナーを守ることができる。</p>	<p>・課題や目的の設定について</p> <p>・課題に合わせたトレーニングの実践 (実技：各自がトレーニングプログラムを作成し、自己課題の達成を目指して取り組む)</p>	<p>【知識・技能】 運動やスポーツの技能を発揮する際には、個々の技能に関連した体力を高めることが必要になることや、期待される成果に応じた技能や体力の高め方があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、習得した知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えること。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	14
							合計